

広報うき

# ウキカラ 6

うきから あなたから 情報発信 みんなでつながろう 2019 No.197



原画で絵本の世界に浸る  
美術館へ行こう

ウキカラ 6  
2019 No.197

発行/熊本県宇城市 編集/企画課  
〒859-0592 熊本県宇城市松橋町大野 85

TEL (0964) 32-1111 FAX (0964) 32-0110  
ホームページアドレス <https://www.city.uki.kunamoto.jp>



環境保護印刷の「水なし印刷」で印刷されています。  
再生紙使用 印刷/敬島印刷株式会社

農業で地域に活力を吹き込む



## profile

2018年度 県農業コンクール大会 新人王部門 特別賞・優良賞受賞

おかむら なおたか ふみこ  
岡村 有能 さん 芙実子 さん

有能さんは平成元年2月20日生まれ、妻の芙実子さんは昭和63年12月18日生まれ。三角町在住。父、母、祖母と共に約7万㎡の畑や田を管理。冬場には不知火や温州ミカン、中晩柑などのかんきつ類、夏場にはイチジクや米を栽培する。不知火やイチジクを育てているビニールハウスのほとんどは、有能さんたちが組み立てたもの。JA熊本うきかんきつ部会・いちじく部会に所属。

宇輝人  
vol.39

宇城市で輝くあなたを紹介

## 施設を拡大して経営発展

まばゆい光を仰ぐイチジク。整然と並ぶ姿からは作業効率の高さが見て取れる。「生まれ変わっても農業がしたいですね」。そう話すのは岡村有能さん。「習いながらですが、手伝いができたら」と妻の芙実子さんが微笑む。2人は先祖代々の土地で、家族と共に果樹農業を営んでいる。有能さんが農業を始めたのは20歳。長崎県南島原市にある農研機構の果樹研究施設で2年間栽培技術を学び、父母との作業で技を磨いた。国内の農業従事者の平均年齢が66歳を超えと高齢化が進む中、24歳という若さで経営を継いだ。「親方を任されてから、将来の方針をよく考えるようになりました」と話す有能さん。施設を広げ、年間の作業を組み、安定した経営を試みる。昨年からは、イチジクの加温栽培も始めた。無加温では、梅雨時期に起こる川の氾濫で収穫前の実が流されることがあったのだ。「加温することで被害を受ける前に収穫でき、出荷が早まることで所得向上につながっています。受賞が励みになり、経営にも気が入ります」と意気盛ん。今後は地域ブランドの創出も視野に入れながら、若き担い手として日々自然と対話する。